

「保健師の活動基盤に関する基礎調査」



Web 調査にご協力ください!



様々な就業形態(フルタイム・パートタイム等)の方にご参加いただけます!ぜひご協力下さい!!

平成 26 年度に続く
4回目の調査です!

全ての保健師を対象とした全国調査です!

保健師の人材確保・定着推進の実態や統括保健師の配置・役割発揮の実態等、保健師の置かれている現状や課題を明らかにし、保健師が保健師らしく働き成長できる体制や環境整備に活かします。

保健師の未来のために様々な課題を浮き彫りに!

平成 26 年度にも同様の調査を実施し、その結果は保健師の現任教育体制の構築やキャリアパスの策定推進、統括保健師の果たすべき役割の整理など様々な政策等に反映されました。

1. 期間 平成 30 年 9 月 5 日 (水) 9:30~10 月 10 日 (水) 15:00
2. 対象 保健師として活動をしている**全国の保健師**(全員) ※看護協会会員・非会員は問いません
3. 方法 インターネット上で回答する “Web 調査”

日本看護協会公式 HP (<http://www.nurse.or.jp/>) よりご回答下さい

日本看護協会

検索

パスワード: hoken

※調査開始日より、トップページに調査専用バナーを設置いたします。

4. 問合せ 日本看護協会 健康政策部保健師課 基礎調査担当 (平日 9:30~17:00)
専用電話 080-5853-7862 専用メール kiso-chosa@nurse.or.jp ※調査期間中のみ
(お問い合わせの際に、ご氏名や所属をお伝えいただく必要はありません)

※本調査への参加は皆様の自由意志に基づくものであり、参加をしない場合でも不利益を被ることはありません。



パソコン・スマホから、ぜひご参加ください。



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人日本看護協会

前回の調査結果の一部をご紹介します ～保健師の専門性を発揮しやすい環境へ～

平成 26 年度の調査では女性 22,866 人、男性 636 人の方にご回答いただき、全国で活動する保健師の約半数の方にご回答いただきました。みなさまのおかげで各所属、領域で活動する保健師の実態を把握することが出来ました。ご協力ありがとうございました。

所属組織は多様な所属の方にお答えいただきました（図 1）。保健師個人を対象とした、全国規模の唯一の調査で、大変貴重なデータです。

回答者の平均年齢と通算経験年数

年齢	41.9 歳
経験年数	16.7 年

平成 26 年度の調査結果、平成 22 年度の調査結果を比較すると現任教育プログラムやマニュアル（図 2）、中・長期的な人材育成の実施（図 3）が各職場で進んできたことがわかりました。しかし、活動領域によってばらつきがありました（図 4）。



（公社）日本看護協会ではこのようなデータを活用し、現任教育体制の整備・キャリアパスの策定や統括保健師の配置・育成の推進について政策提言等を行っています。

調査を活かし、今後も多様な場で活躍する保健師が、地域や職場のみなさまのために力を発揮できるよう、（公社）日本看護協会は、「保健師の専門性を発揮するための基盤強化」へ向けて様々な事業や政策提言を進めてまいります。

H26調査回答者の所属組織

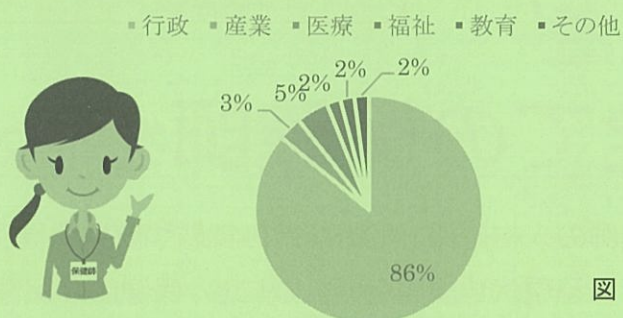


図 1

現任教育プログラムやマニュアル

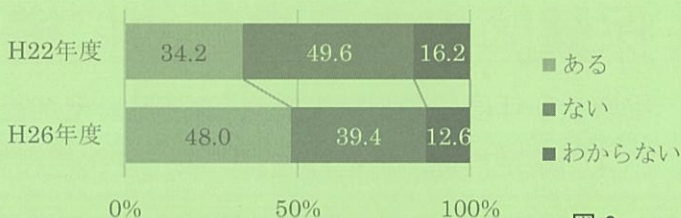


図 2

中・長期的な人材育成

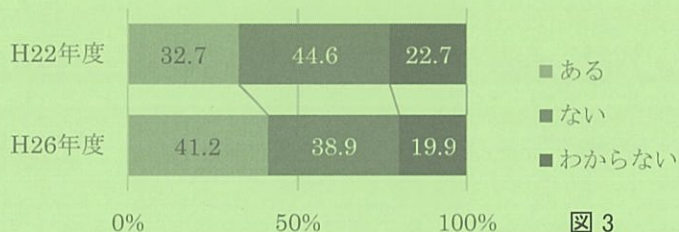


図 3

H26年の領域別現任教育の状況

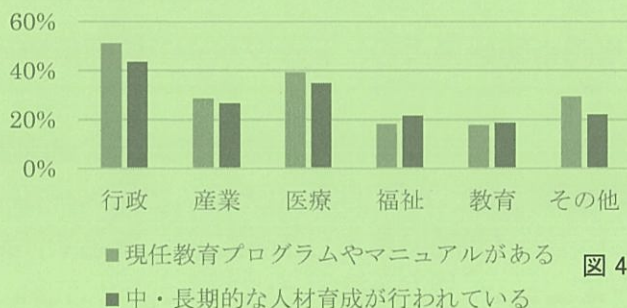


図 4